

<保育課程>

保育理念		子どもの最善の利益を考えて、保護者と共にその福祉を増進することに最もふさわしい生活の場をつくる						
保育方針		・保育の専門性を高める ・子育て支援を積極的にすすめる ・養護と教育を一体化した保育をすすめる						
保育目標		<ul style="list-style-type: none"> 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で、子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持、および情緒の安定を図る 健康・安全など、生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに自主・自立および協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う 生活の中で言葉への興味や関心を育て話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養う 様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み創造性の芽生えを培う 						
		保育の内容						
		0歳児		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
		6ヶ月未満	6ヶ月以上					
養護	生命の保持	・保健的で安全な環境の下、生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定をはかる	・保健的で安全な環境の下、生理的欲求を満たし、快適に生活できるようにする	・保健的で安全な環境を作り、身体的状態を観察し快適に生活できるようにする	・保健的で安全な環境を作り、健康に過ごせるようにする	・保健的で安全な環境を作り、健康に過ごせるようにする	・保健的で安全な環境を作り、健康に過ごせるようにする	・保健的で安全な環境を作り、健康増進が積極的に図られるようにする
	情緒の安定	・一人一人の子どもの甘えなど依存欲求を満たし、情緒の安定をはかる	・一人一人の子どもの依存欲求を満たし、情緒の安定をはかる	・一人一人の子どもの気持ちを満たし、情緒の安定をはかる	・一人一人の子どもの気持ちを満たし、共感しながら信頼関係を築いていく	・午睡など適切な休息をとらせ心身の疲れを癒し、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする	・周囲の大人や子どもから、かけがえのない存在として受け止められ、認められ、自己を十分に発揮できるようにする	・一人一人を主体として受け止め自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする
教育	健康	・安全で活動しやすい環境の下で、寝返りや腹ばいなど運動的な活動を経験する	・安全で活動しやすい環境の下で、運動機能の発達をめざし、様々な身体活動を楽しむ	・簡単な身の回りの活動を通して自分でする気持ちが芽生え、自由に身体を動かすことを楽しむ	・簡単な身の回りの活動を自分でしようとし、全身や、手や、指を使う遊びを楽しむ	・生活に必要な基本的な習慣を身につけ、身体を動かすことを楽しむ	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を次第に身につけ十分に身体を動かして、遊ぶことを楽しむ	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、進んで運動しようとする
	人間関係	・子どもが示す様々な行動や欲求に保育士等が適切に応えることで、人に対する基本的信頼感が芽生える	・安心できる保育士等との関わりの中で身近な大人や友だちに関心を持つ	・安心できる保育士の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち関わろうとする	・身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう	・保育士との安定した信頼関係をもとに友だちと関わって活動することを楽しむ	・友だちとの関わりを深く集団で活動することを楽しむ	・社会生活における望ましい習慣や態度を身につける
	環境	・安心できる人的・物的環境の下で、聞く・見るなどの感覚の働きが豊かになる	・絵本や玩具・身近な生活用具が用意された中で、身の回りのものに対する好奇心が芽生える	・身の回りの様々なものを自由にいじって遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ	・身の回りの物や親しみの持てる小動物を見たり、触れたり、保育士から話を聞いたりして興味や関心を広げる	・自然など身近な事象に関心を持ち、遊びや生活に取り入れようとする	・身近な環境に親しみ、周囲と共感しながら興味や関心を広げ、自然に関わる意欲を持つ	・身近な事物を見たり考えたり扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする
	言葉	・笑ったり泣いたりする子どもの状態に優しく応え、発声に回答しながら喃語を育む	・優しく語りかけたり、発声や喃語を楽しむ	・保育士の話しかけや発語が促されたりすることに喜び、言葉を使うことを楽しむ	・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、言葉のやりとりを楽しむ	・日常生活に必要な言葉がわかるようになると共に、自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう	・人の言葉や話を聞き、自分の経験したことを話したり、思いを伝えたり、相手の話を受け入れたりする	・人の言葉や話などをよく聞いて、内容を理解したり、自分の経験したことや考えたことをわかりやすく表現したりして、伝え合う喜びを味わう
	表現	・泣いたり笑ったりして欲求を表現しようとする	・泣いたり、笑ったり、怒ったりして自分の欲求を表現する	・様々な素材に触れ、興味を持つ	・興味のあることや経験したことなど生活や遊びの中で好きなように表現する	・生活の中の様々な体験を通してイメージを豊かにし、自由に表現する	・一緒に生活する中で、イメージを豊かにし、表現を楽しむ	・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現することの喜びを味わう
食育1	・個人差に応じて授乳を行い、健やかな発育・発達をすすめる	・離乳食をすすめる、様々な食品に慣れさせながら幼児食への移行をはかる	・様々な食品や調理形態に慣れ、楽しい雰囲気の下で食べられるようにする	・保育士や友だちと一緒に楽しんで食事ができるようにする	・健康な生活のリズムを身につけ楽しんで食事する	・明るく和やかな雰囲気の中で保育士や友だちと一緒に食べることを楽しむと共に自然の恵みに気づく	・食べ物と体の関係に興味をもち食べることを楽しむと共に食材や調理する人への感謝の気持ちを持つ	
食育2	・給食を通して、食への興味・関心・感謝の心、「食を楽しむ心」を育む							
健康支援	・一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるように環境に留意し、日常の状態をきめ細かく把握する	・子どもの健康状態並びに発育・発達状態について充分把握し、異常を発見した場合には嘯託医と相談するなど適切な対応を図る。						
エコ	・園の生活の様々な取り組みを通して、園児や保護者にエコの大切さを伝えていく							
保護者への支援	・家庭との連携を日常的に図り、一人一人の保護者の気持ちを受け止め、信頼関係を築く							